

平成30年度  
大館市通学路交通安全プログラム

合同点検箇所

平成30年8月22日

学校名	危険箇所 No	道路 種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
城南小	1	市道	信号待ちするためのスペース(家屋の塀と路側帯の幅)が狭く、後方から走ってくる車や左折車に接触する危険がある。	できるかぎり塀側に身を寄せるよう指導し、冬期間は民家屋根から車道への落雪のため、車が来なくなってから通るように指導している。
	対策内容		物理的措置は困難であり、 信号待ち時の指導により安全を確保することをH28に確認済。	
城南小 第一中	2	市道	交通量が多いほか、住宅地側に歩道がなく、路側帯内が側溝の蓋の幅しかなく、走ってくる車に接触する危険がある。	できるかぎり車道側を歩かないように指導している。
	対策内容		学校の指導で対応	



学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
城西小	7	市道	根下戸町内, 住吉町内, 城西町内など, 学校の裏の村谷商店前から国道やバイパスにつながる道路は道幅が大変狭いことに加え, 車の交通量も多い。また, スピードを出す車も少なくない。大変危険である。	部分的にグリーンゾーンを設置。広がらないで一列で歩くよう指導している。
		対策内容	物理処理は困難 学校の指導で対応	
城西小	8	市道	いとく片山店裏の第一貨物付近の道が, 大型トラックの影響で見通しが悪く危険である。	左右を良く確認し, 一列になって通行するように呼びかけている。
		対策内容	道路管理上, 処理は困難 学校の指導で対応	





学校名	危険 箇所 No	道路 種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
城西小	1	市道	校門前の横断歩道。新しく造成された宅地道路の中央に位置している。横断歩道の位置をずらせないか。	登下校時職員がついて指導しているが、そもそも横断歩道の位置がおかしいので、引き直してほしい。
	対策内容	横断歩道の引き直しを検討中		



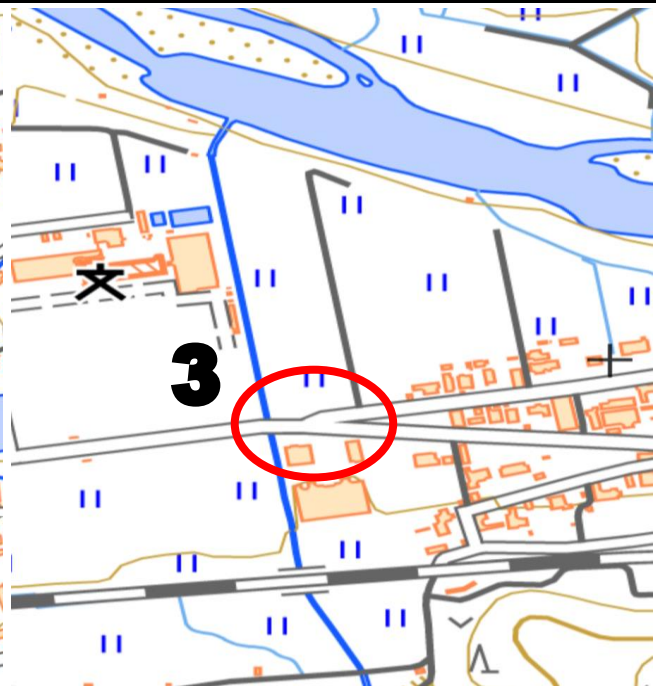


学校名	危険 箇所 No	道路 種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
釈迦内小	1	市道	路肩が狭い上、傾斜になっている。側溝の蓋もないため、児童が落ち怪我をしたことがある。	路肩の狭さと傾斜について説明し、気を付けて登下校するように呼びかけている。
対策内容		市で側溝蓋を設置済(H30年度施工)		

※今年度の改修箇所には上がっている。

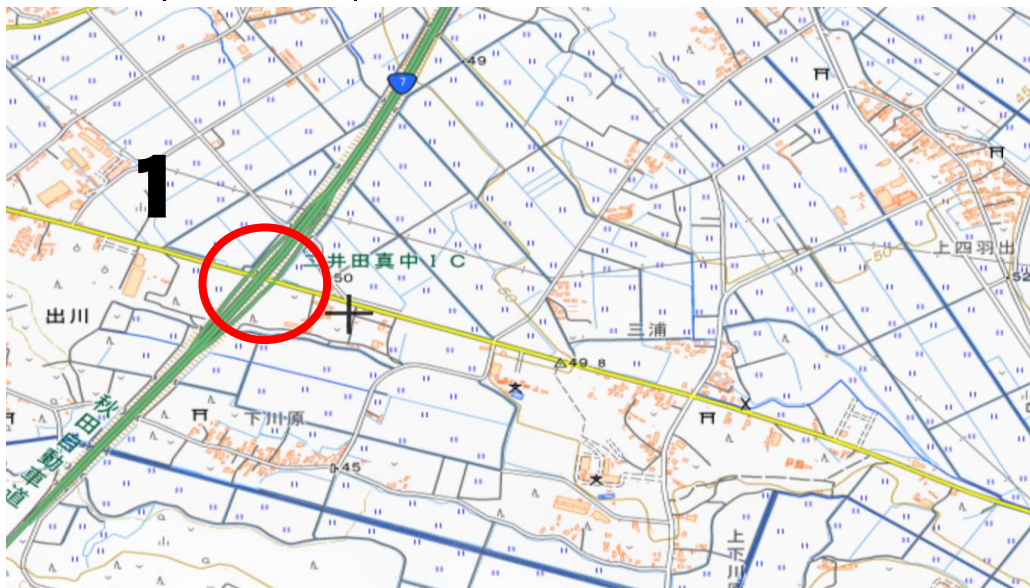


学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
成章小 成章中	1	市道	児童が自宅から学校までの通学路になっているが、信号がないため右折、左折、前後の車両を確認しないと横断できない場所である。	登下校時、左折、右折する際には一度立ち止まり、十分に確認してから横断するように指導している。(毎年、自転車利用児童には交通安全教室において自転車の乗車指導を行っている。)
	対策内容		物理処理は困難 学校の指導で対応	
成章小	2	市道	児童が自宅からバス停まで徒歩で通学している。道路の路側帯が狭く、大型車両の通行量が多いため児童が歩くのには大変危険である。	登下校時、バスの乗降前後には大型車両の通行量が多いことを考慮して十分に注意しながら、路側帯から絶対にはみ出ないように歩くように指導している。
	対策内容		物理処理は困難 学校の指導で対応	
成章中 成章小	3	国道	押しボタン式信号があるものの、交通量が多い。積雪時には歩道の雪が多いため、車道にでて、手を伸ばしてボタンを押す状況も見られた。	生徒には横断時の注意について指導を行った。積雪時は学校から地域振興局建設部に除雪の依頼を行った。
	対策内容		物理処理は施されている 除雪は学校から担当部署へ連絡で対応	





学校名	危険個所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
南小 南中	1	県道	二井田真中インターチェンジ降り口の横断歩道 ：自転車通学や徒歩の児童の横断とインターチェンジを降りて右・左折する車両が交差する。	本横断歩道を横断する際は、十分安全確認をして横断することを家庭と連携して指導している。また、スクールガードには、見守り活動の重点箇所と位置付けて、見守り活動を行っていただい
			対策内容	学校の指導で対応

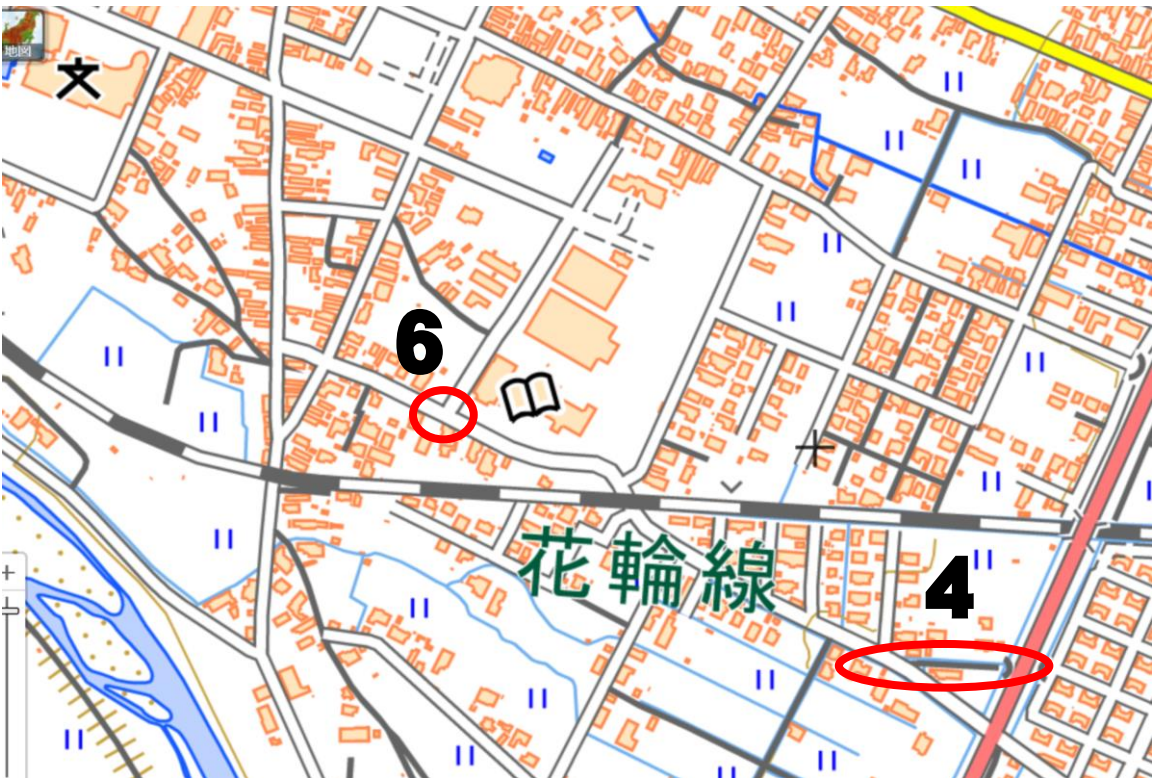
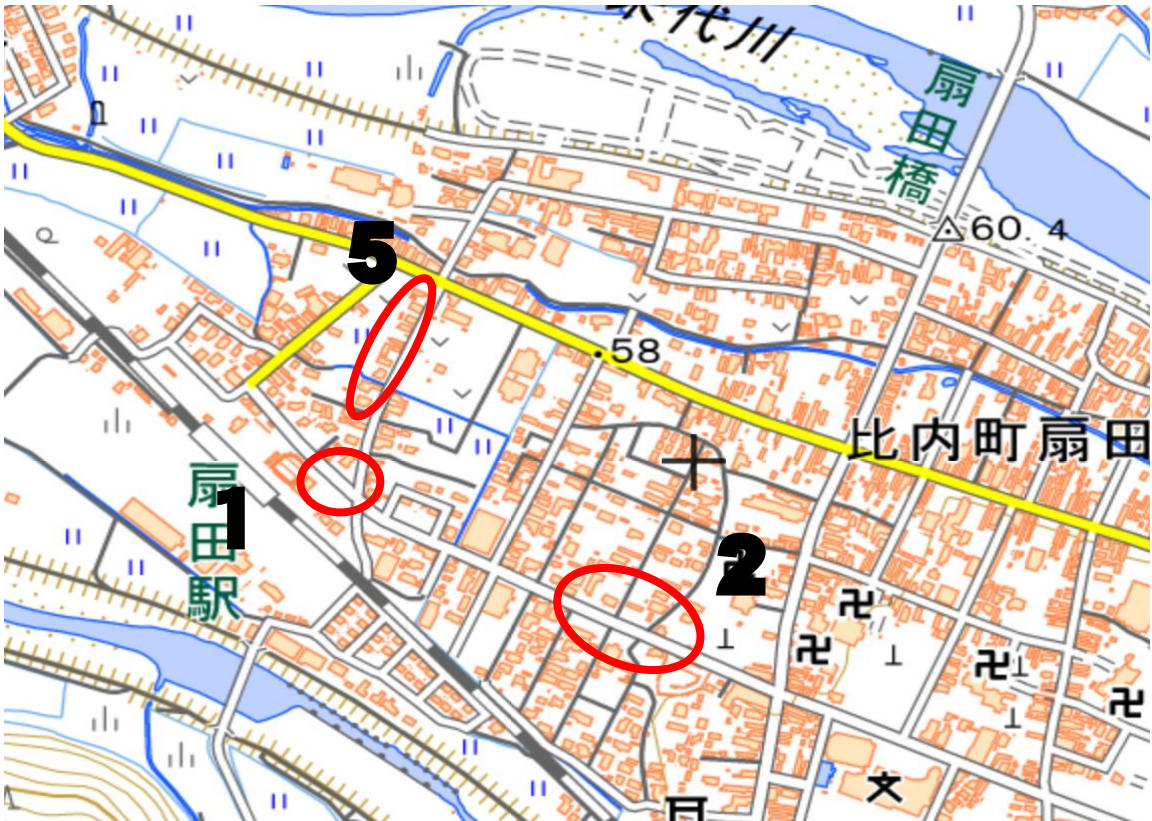


# 調査票

学校名	危険 箇所 No	道路 種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
扇田小	1	市道	車の通りが多いが、道路の両側に歩道がない。市日(5と0の付く日)が開催される日は、駐車車両もあり危険。冬期間は積雪で道路が狭くなり、市日と重なると危険度が高まる。	冬期間は、通学路点検や地域住民の情報を基に積雪状況を把握し、できるかぎり除雪の手が入るように地域住民や関係機関にお願いしている。
	対策内容		学校の指導で対応	
扇田小	2	市道	県道136号は車の通りが多いため、一本隣の道を通学路としている。メモリスあきた北付近で横断し、右側を歩行することになっているが、横断歩道がない。	月一回、集団登校をする際には、保護者がついて安全確保に努めている。
	対策内容		学校の指導で対応	
扇田小	3	市道	冬季になると、学校前の西向きの信号に雪がかぶさるように積もり、信号の色が分からなくなることがある。赤信号を見落として横断歩道進入してくる車もある。ぜひ、斜めになっている信号機に代えていただきたい。	教職員が登下校時に横断歩道につき、安全確保に努めている。
	対策内容		除雪は学校から担当部署へ連絡で対応	
扇田小	4	市道	国道285号は車の通りが多く危険なため、トンネルを使用して国道を横断するようにしている。しかし、細いトンネル内は車も通行したり、通学路との合流場所に横断歩道がなかったりと、完全に安全が確保されているとは言い難い。	月一回、集団登校をする際には、保護者がついて安全確保に努めている。
	対策内容		学校の指導で対応	
扇田小	5	県道	二井田工業団地への通勤等ここ数年交通量がとても多くなった。通学路となっているため、横断する際には安全確認をしっかりするように繰り返し指導しているが、スピードが出ている車がほとんどであり、信号機の設置をお願いしたい。	月1回、集団登校をする際には、保護者がついて安全確保に努めている。
	対策内容		学校の指導で対応	
扇田小	6	市道	比内公民館前から、学校に向かって歩道のある方に市道を横断して登校している。横断歩道がないため、減速しないまま、右折してくる車が多い。道幅は狭くないが交通量は多い。道幅は狭くないが、交通量は多いので横断歩道の設置をお願いしたい。	教職員が定期的に巡視している。児童に安全を確認して横断するように繰り返し指導している。
	対策内容		学校の指導で対応	



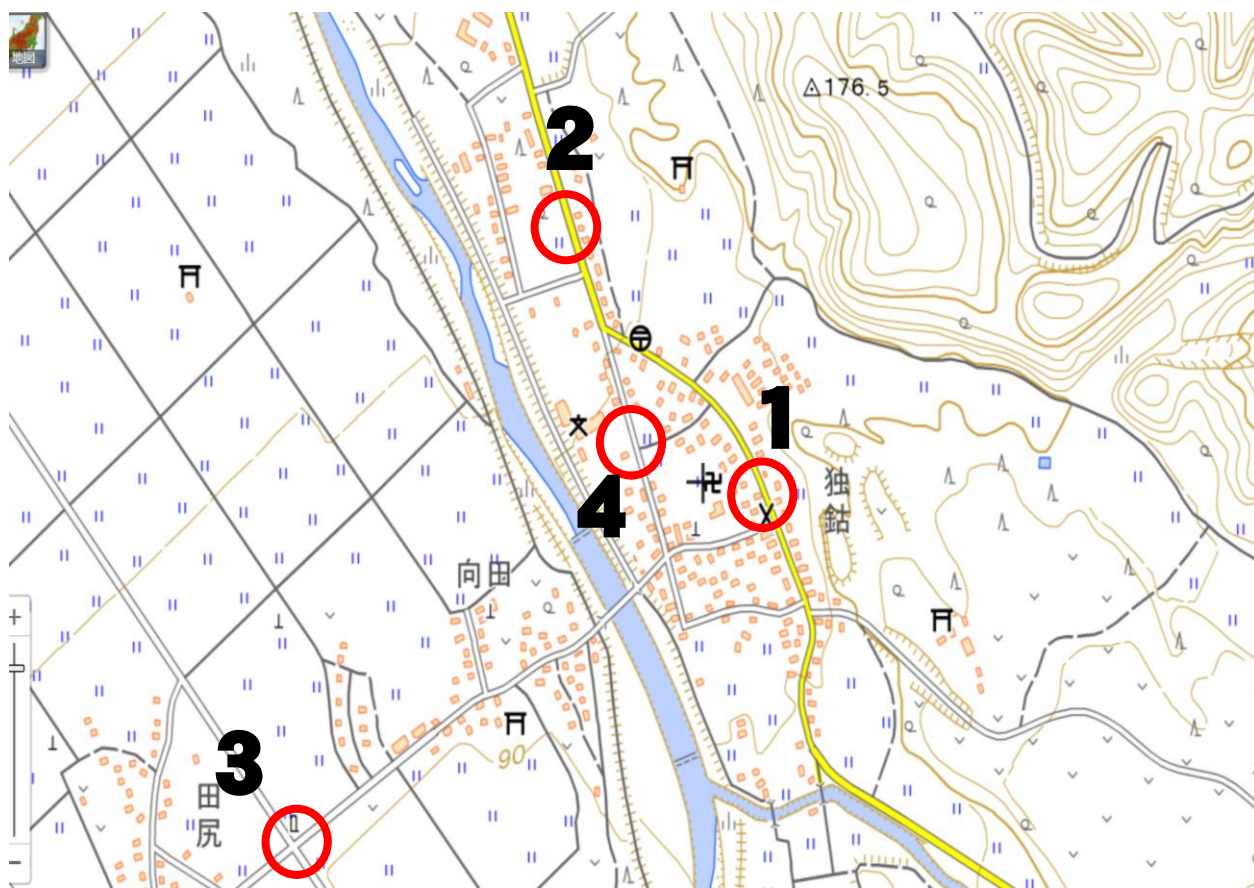






# 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
東館小	1	県道	見通しが悪く、道幅も狭い。朝の通学時には、スピードを出す車も多く、運転手からの発見が遅れる可能性がある。	交通安全教室で、横断の仕方を児童に指導している。また、4月に登校指導も行っている。
	対策内容		物理処理は困難 学校の指導で対応	
東館小	2	県道	味噌内方面より独鈷へ続く歩道が急に途切れ、反対方向へ歩道が切り替わる。信号もないため、横断する際に車と接触する危険がある。	交通安全教室で、横断の仕方を児童に指導している。月初めに登校指導を行っている。
	対策内容		物理処理は困難 学校の指導で対応	
東館小	3	市道	信号のない交差点で、過去に死亡事故も起きている。一方は一時停止になっているが、もう一方は一時停止になっていない。	通常はバス通学区域となっている。長期休業前のPTAや子ども会で注意喚起している。また、夏季休業中のプール開放時にはPTAや交通安全協会、学校職員が輪番で
	対策内容		学校の指導で対応	
東館小	4	市道	道幅も狭く、朝の登校時は送迎の車で混雑している。側溝がない部分もあり、今年度も落下する事故が起きている。	校長が毎朝、登校の様子を見守り注意喚起している。送迎する保護者にも注意喚起している。
	対策内容		施行済み	





学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
第一中	1	市道	一中校門前の通りを東に約300m進んだところにJR花輪線昭和踏切があり、城南小・城西小・桂城小学区の自転車通学の生徒が多数通行しているが、踏切の手前の道路幅が狭く、自動車が通ると近い距離でスレ違うため、接触の危険がある。また、踏切から西側の旧伊藤酒店前の交差点まで約20mしかないため、信号待ちの生徒が多数路上にいる時も自動車との接触の危険がある。	自転車走行時及び停車時は、できるだけ道路の端に寄るよう指導している。赤信号で交差点付近が混んでいる時は、踏切内への進入も避けるよう指導している。
	対策内容		学校の指導で対応	
第一中	2	市道	危険箇所No.1に記述した旧伊藤酒店前に花壇があり、信号待ちをしている生徒が道路の中央側にはみ出してしまうことがあり危険である。(花壇の所有者は不明)	危険箇所No.1と同様の指導をしている。
	対策内容		市で花壇を撤去済(R2.8施工)	
第一中	3	市道	中神明町から舟場町内方向に向かう坂道が、自動車一台ぶんの幅しか舗装していないため、自転車通学中に自動車がきた時は危険を感じる。また、街灯もないので、暗くなると道路がかなり見えにくい。	スピードを落とし、自動車や歩行者に注意して走行するよう指導している。また、暗くなってきた時には、必ずライトを点灯するよう指導している。
	対策内容		街灯はPTAの要望で対応	
第一中	4	市道	泉町の煉屋菓子舗前から市道大町山館線を大町方向に約20m進んだところの交差点(Y字路)、及び交差点を左折して約20m進んだところの交差点(T字路)の見通しが悪く危険である。	見通しが悪い交差点なので、徐行、停止、安全確認して注意深く走行するよう指導している。
	対策内容		学校の指導で対応	
第一中	5	市道	一中と城西小の間にある坂を下りきった交差点(T字路)付近の舗装が傷みでこぼこしているため、自転車で走行しにくい。	スピードを落とし、自動車や歩行者に注意して走行するよう指導している。
	対策内容		市で視線誘導線を施工済(R1年度施工)	

No.1, 2



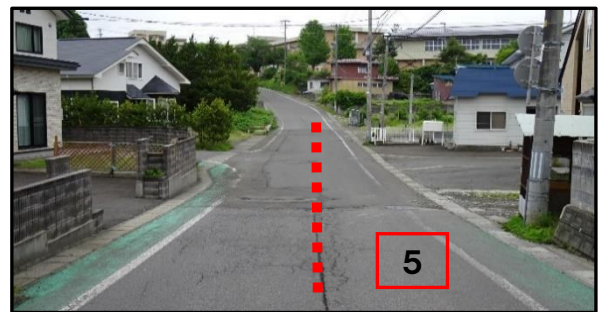
No.3



No.4

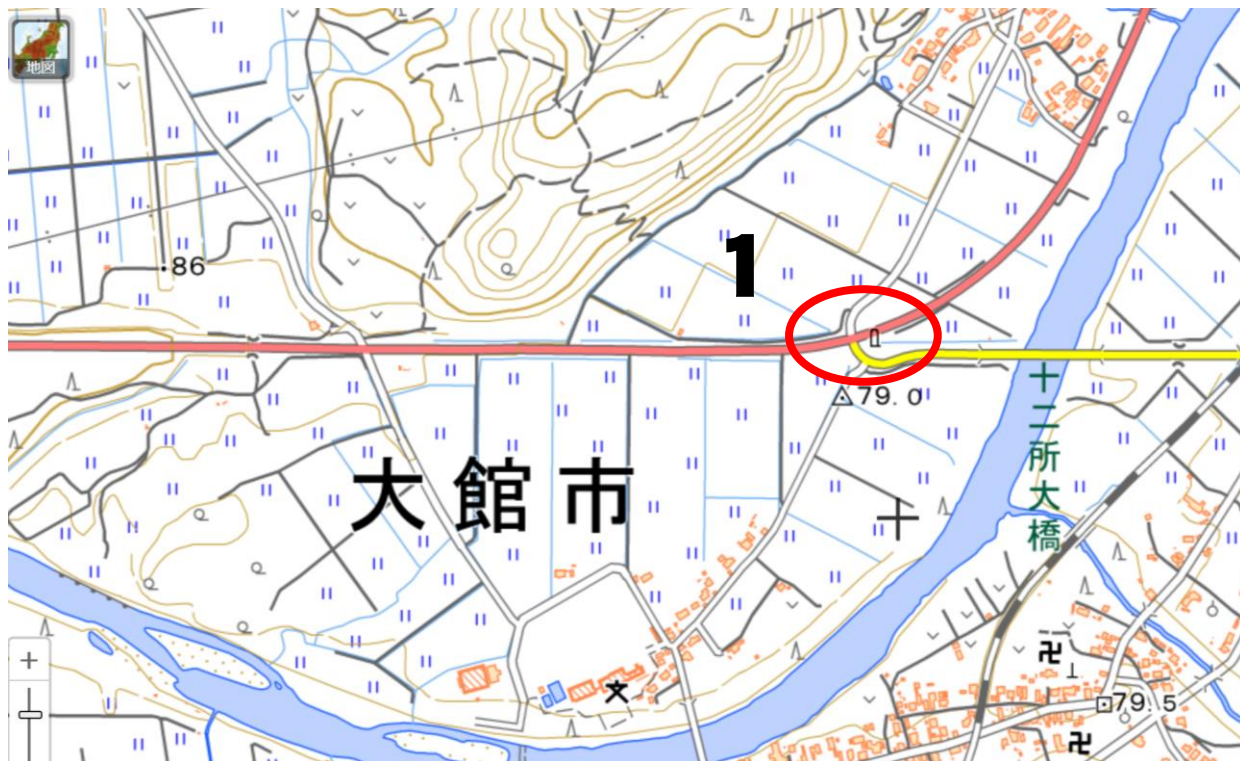


No.5





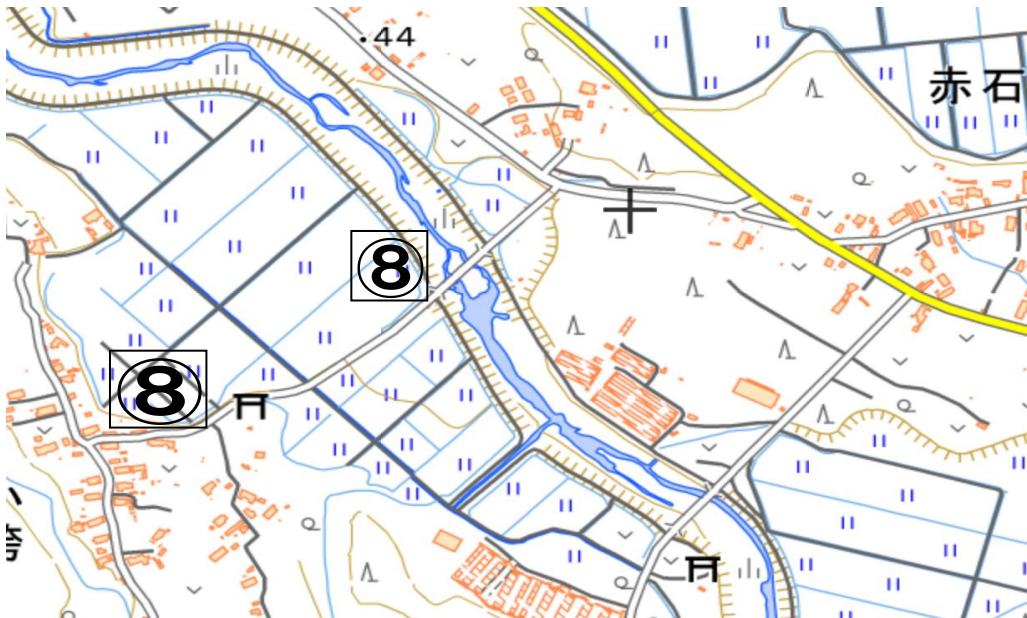
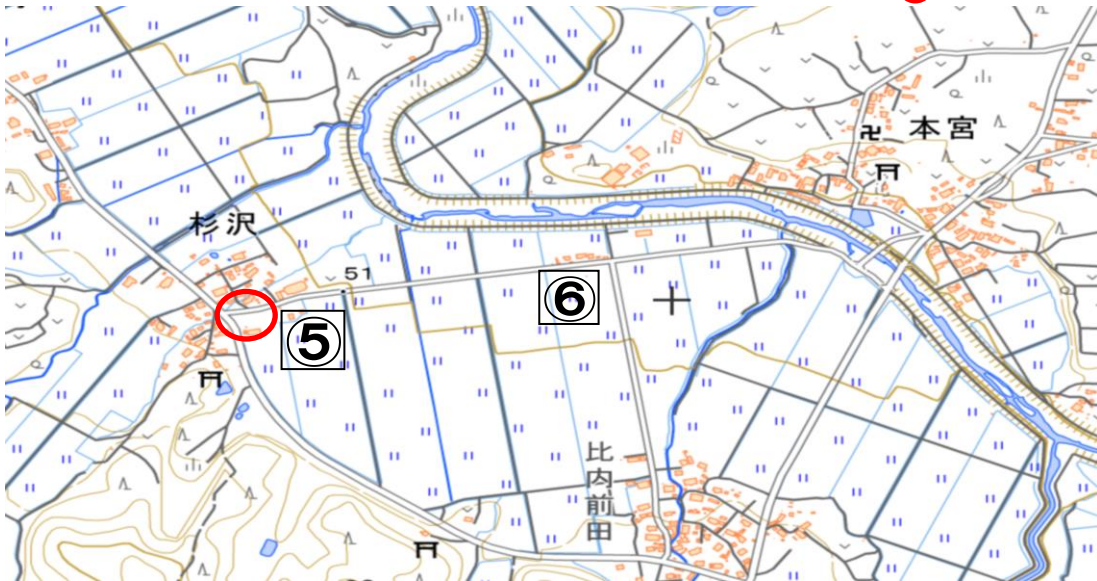
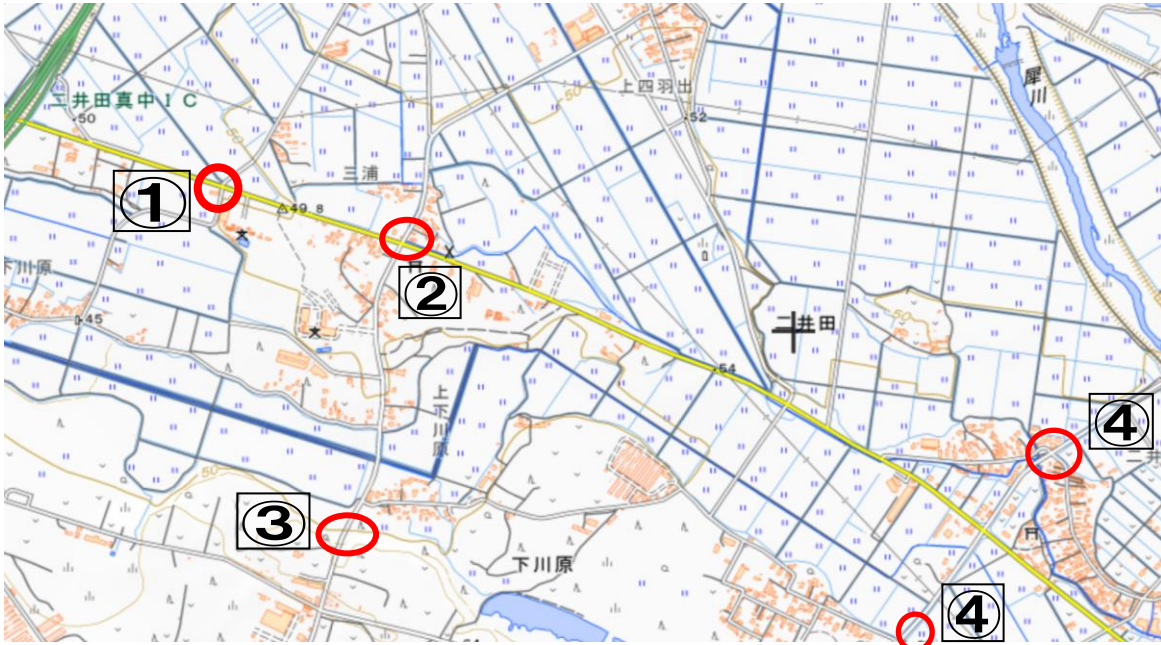
学校名	危険箇所 No	道路 種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
成章中 成章小	1	国道	押しボタン式信号があるものの、交通量が多い。積雪時には歩道の雪が多いため、車道にでて、手を伸ばしてボタンを押す状況も見られた。	生徒には横断時の注意について指導を行った。積雪時は学校から地域振興局建設部に除雪の依頼を行った。
対策内容		物理処理は施されている 除雪は学校から担当部署へ連絡で対応		

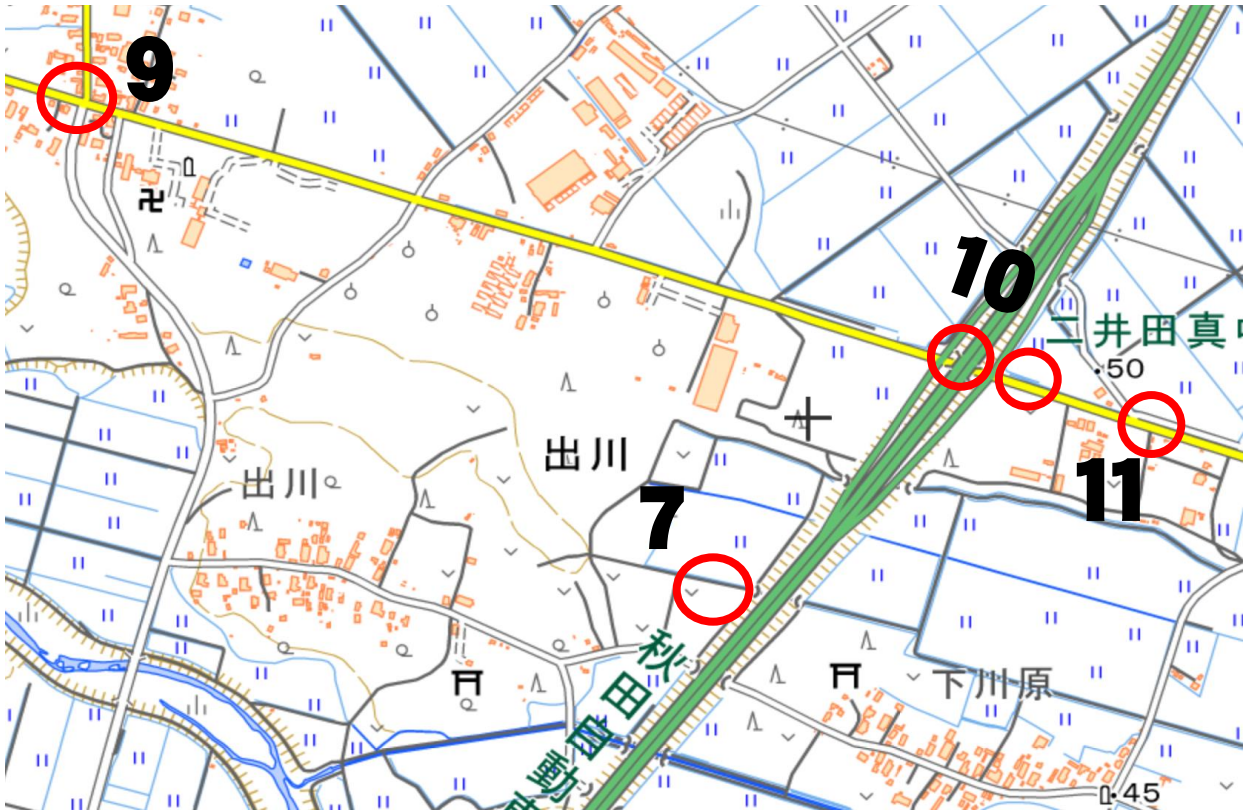


調査票

学校名	危険箇所 No	道路 種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対応状況
南中	1	県道	・交通量が多い道路だが、信号がなく、スピードを出して走る車が多い。高速道路の開通により、トラックの走行も多くなった。	・危険箇所として啓発 ・職員・保護者による交通指導（交通安全運動期間中）
	対策内容		学校の指導で対応	
南中	2	県道	・交通量が多い。信号はあるが、横断中左折してくる車が怖い。	・危険箇所として啓発 ・職員・保護者による交通指導（交通安全運動期間中）
	対策内容		学校の指導で対応	
南中	3	市道	・本宮に向かう歩道には街灯がほとんどなく、真っ暗である。段差があり、雑草も生えている。	・危険箇所として啓発 ・ライト点灯の指導
	対策内容		街灯はPTAの要望で	
南中	4	県道	・近くにコンビニがあり、交通量が多いが、信号がない。	・危険箇所として啓発 ・職員・保護者による交通指導（交通安全運動期間中）
	対策内容		学校の指導で	
南中	5	市道	・道路がカーブしていて比内前田方面から来る車が見えにくいので、杉沢会館側から麓西体育館側に横断する時に注意を要する。	・危険箇所として啓発
	対策内容		学校の指導で	
南中	6	市道	・街灯ない。道幅狭い。片方にガードレールがない。田が低い所にある。	・危険箇所として啓発 ・ライト点灯の指導
	対策内容		市道の街灯は、道路管理上対象外であるため、PTAの要望事項等を活用して要望を挙げてほしい。実現までは学校の指導で対応	
南中	7	市道	・街灯がなく真っ暗である。	・危険箇所として啓発 ・ライト点灯の指導
	対策内容		市道の街灯は、道路管理上対象外であるため、PTAの要望事項等を活用して要望を挙げてほしい。実現までは学校の指導で対応	
南中	8	市道	・街灯がなく真っ暗である。 ・ミラーはあるが見えにくく危険である。	・危険箇所として啓発 ・ライト点灯の指導
	対策内容		ミラーを確認し、問題なし。	
南中	9	県道	・信号はあるが交通量が多く、スピードを出して走る車も多い。車との距離が近いと感じる。	・危険箇所として啓発
	対策内容		学校の指導で対応	
南中	10	県道	・信号がないためか、スピードを出している車が多い。	・危険箇所として啓発
	対策内容		学校の指導で対応	
南中 南小	11	県道	・高速道路に出入りする車がスピードを出しているため危険である。出口付近は見通しが悪いので、ほとんどの車が横断歩道を超えてから一時停止する。	・危険箇所として啓発
	対策内容		学校の指導で対応	











## 調査票

学校名	危険個所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
比内中	1	国道	登下校時は交通量も多く危険である。信号機の色で判断すればよいが、停止することなく通る自転車が散見された。	お便りを発行し、学級で指導した。
	対策内容		警察によって横断歩道設置について塗り直しもふくめ検討。学校の指導で対応で直近は対応する。	
比内中	2 3 4	県道	登下校時は交通量も多く危険である。横断歩道のペイントも薄く、いつ事故に巻き込まれるかと不安である。②の所に「止まれ」の印があると、生徒も意識して安全確認できると考える。	登校時は、職員がついて見守り、声かけしている。下校時も④の道路を一列で帰るように指導している。
	対策内容		警察：横断歩道の塗り直し完了 県：県道より校門側に白線引きを検討。※「止まれ」はなし	

d

s